

2021/12/21

リトルハウス通信

今年も残り10日ほどで終わろうとしています。皆さまは今年一年どのように過ごされましたでしょうか。

昨年今頃は、コロナ渦の中、リトルハウスから感染者を出すことなく年を越せるであろう事に、小さな安堵感を抱いていました。そして来年こそは、徐々に平常通りの生活に戻り、マスク着用の生活も終わり、黙食も終わり、真冬の中、リトルハウスの東西南北すべての窓を開けっぱなしにしながら施設内でコートを着て過ごす生活も終わるのではないかと、ぼんやり明るい未来を想像していたのでした。

しかし2021年、蓋を開けてみたら、皆さまも十分ご存じの通り、新型コロナウイルスの感染が更なる増大を続け、幾度にも及ぶ緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令がされました。

結果として2020年以上の緊張感の中で2021年を過ごすこととなってしまいました。昨年同様、フリーマーケット等の行事は行われず、あらゆる研修についてもほぼすべてがZOOMで行われ、それに加えてリトルハウス始まって以来、恒例の秋の一泊旅行もついに中止にせざるおえなくなりました。

しかしそんな中でも、本年度から始めたスポーツレクのボッチャについては、広い体育館を借り、感染対策を万全にしたうえで何とか3回実施できたこと。そして板橋区が管理運営をしている茶室を借りてのお茶会を行う事ができたことは、リトルハウスにとってとても大きな収穫だったと思います（詳しくはリトルハウス通信9月号、10月号をご覧ください）。

そして現時点では、ですが、全国の感染者数が激減したことを十分に考慮した上で、来年2022年1月にリトルハウスで旅行を行うことが決まりました（もちろん年が明けて、また新型コロナの感染者数が増大し、緊急事態宣言が発令されたら中止にせざるおえないでしょうが…）。

来年2022年は、コロナが完全に終息する日を夢にみたりもします。しかしたとえコロナ渦の中であっても、コロナ渦で過ごした1年数か月を大きな経験値であったとプラスに捉え、そんな中でもいかに実りのある活動をしていけるかを考えていきたいと思っています。

皆さまにとっても来年が実りのある素晴らしい1年でありますように。（鈴木）